

月刊 新翔タイムズ

第34号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

第5回入学式 160人の新入生を迎える

七瀧校長「熱意なくして成功なし」

平成23年度入学式が8日に行われ、高校生活に胸をくぐらせた160人の男子76人、女子84人が校門をくぐった。

「74単位を取得できる生活習慣を確立する」の2点を新入生たちに強く要望。「熱意なくして成功なし」の言葉を例に、夢や目標を持ち、やっつと努力を怠らぬよう望んだ。

保護者に対しては、就職氷河期といわれる状況を乗り切るために、地元企業や事務所から信頼される人材を送り出すための協力を求め、地域も交えて人材育成に努めることを約束した。

山形県教育委員会が来賓祝辞を述べ、入学生を代表して藤井祐里さんが代表して藤井祐里さんが



宣誓する藤井祐里さん

「私達はそれぞれの目標を胸に新翔高等学校の門をくぐりました。これから迎える様々な出来事から逃げることなくチャレンジし、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。将来に向かって一生懸命勉強したいと思えます。相手を思いやる気持ちを忘れず、友人を大切に、クラブ活動や学校行事に積極的に取り組んでいきます」と宣誓した。



緊張感の漂うなか、肅々と進められた入学式。8日

始業式・新任式 七瀧校長、新年度を迎え訓示

平成23年度の始業式が7日に行われた。新2、3年生が体育館に集まった中、七瀧校長は、あいさつの大切さを挙げ、新年度が始まるが気持ちを7日に引き締めて学校生活に取り組むよう訓示した。

震災から半月余りの被災地の現状を踏まえ、「当地方にもいつ地震が来るのかも分からない。今現在、このように高校生活

生徒会長 対面式で新入生を激励

生徒会長 対面式で新入生を激励

新入生を迎えて11日、在校生との対面式が行われた。新しい制服に身を包み少し緊張気味な新入生を前に、七瀧校長がまず東日本大震災について

触れ、「何気ないことにも感謝の気持ちを持ち、在校生と新入生が支えあいつながって学校生活を歩んでほしい」と話した。その後、在校生を代表

を何事もなく過ごすことができてありがたさを感じてほしい」と地震を通して考えてほしい事柄を述べた。

▽新転入の先生

- 小阪聖子 (国語科)
- 岡本剛典 (英語科)
- 甲本乃之 (商業科)
- 岡 順平 (体育科)
- 南方邦宏 (商業科)

硬式野球部

こんにちは、硬式野球部です。野球部員数は3年生12名、2年生8名、マネージャー4名と新入生10名が入部し計34名となりました。2年前の秋の新人戦での公式戦の勝利を機に

クラブ紹介

徐々に力をつけてきたが、選手権大会では善戦するも勝利に結びついていません。選手たちはいつも選手権大会でまず初戦突破を一つでも多くの勝利を目標に毎日練習に励んでいます。



離任式「お世話になりました」

生徒ら、5人の先生と別れ惜しむ

6日、体育館で離任式が行われ、5人の先生が学校を離れることとなった。七瀧校長は式辞の中で「毎年の時期が来る度に別れの季節が来たのだと感じます。この学校に尽力して下さった先生方には、お世話になりました」と感謝の言葉を述べた。

江川一 (国語科)
江口真平 (商業科)
川端一弘 (英語科)
川口敦志 (商業科)
宮下卓一 (体育科)

江川一 (国語科)
江口真平 (商業科)
川端一弘 (英語科)
川口敦志 (商業科)
宮下卓一 (体育科)

江川一 (国語科)
江口真平 (商業科)
川端一弘 (英語科)
川口敦志 (商業科)
宮下卓一 (体育科)

江川一 (国語科)
江口真平 (商業科)
川端一弘 (英語科)
川口敦志 (商業科)
宮下卓一 (体育科)

江川一 (国語科)
江口真平 (商業科)
川端一弘 (英語科)
川口敦志 (商業科)
宮下卓一 (体育科)



対面式=11日

先生の紹介



はじめまして。このたび本校に赴任しました甲本乃之(こうもと のりゆき)と申します。担当教科は商業科で学年は1年2組の副担任、部活動はソフトテニス部の顧問をしています。

私は岡山県の出身のため、今まで和歌山県

はじめまして。このたび本校に赴任しました甲本乃之(こうもと のりゆき)と申します。担当教科は商業科で学年は1年2組の副担任、部活動はソフトテニス部の顧問をしています。

はじめまして。このたび本校に赴任しました甲本乃之(こうもと のりゆき)と申します。担当教科は商業科で学年は1年2組の副担任、部活動はソフトテニス部の顧問をしています。

はじめまして。このたび本校に赴任しました甲本乃之(こうもと のりゆき)と申します。担当教科は商業科で学年は1年2組の副担任、部活動はソフトテニス部の顧問をしています。私は岡山県の出身のため、今まで和歌山県

3日間の新入生研修



研修に取り組む1年生

1学年を対象にした新入生研修が15日から19日まで行われた。160人が高校生活のスタートに向け、3日間とも5、6限の計6時間、取り組んだ。

1日目の5限目前半では、学年主任より研修の心得と内容についての説明を受けた。その後、教務部長より、総合学科における履修、習得、授業を受けていく心がまえ等についての指導を受けた。

「新翔高等学校に入学して」に取り組んだ。第2日の5限目は、生活指導部長より、学校生活全般、校則に関わる注意点等の指導を受けた。

3日目の5限は、制服製造元である瀧本株式会社より「制服着こなしセミナー」というタイトルで、制服の着こなしはもちろんのこと、制服の手入れ、身だしなみ全般も含めた指導を受けた。

各日程で生徒たちは、全体的に落ち着いた姿勢、態度で取り組むことができた。最終日の大縄跳びでは、体育祭で大縄跳びの種目があることもあり、クラス対抗で競い合って、白熱したものとなった。



最終日には大縄跳びも